



## 2015横浜市ミニバスケットボール連盟 春季大会 戦評

### 男子準決勝 山手中華 34 vs 45 川上北

#### 1Q

山手中華④⑥⑨⑩⑪ 川上北④⑤⑥⑦⑬でスタート。  
両チーム共にオールコートマンツーマンでスタート。開始早々、川上北④の連続シュートで先制する。  
山手中華もバスランでボールを繋ぎ⑥のゴール下のシュートで反撃するが川上北の固い守りに阻まれ苦しい展開となる。  
一方、川上北④、⑤、⑦が山手中華の厳しいDFに対しても積極的に攻め加点し8 - 17で1Q終了する。

#### 2Q

山手中華⑧⑩⑫⑭⑮ 川上北⑧⑨⑩⑪⑫でスタート。  
両チーム共にオールコートマンツーマンでスタート。開始早々今度は山手中華が主導権を握る。  
川上北はドリブルでボールを運ぶも山手中華の厳しいDFにあわて、ようやく川上北⑧のゴール下シュートが決まるが、  
山手中華の反撃は止まらず残り1分30秒たまず川上北タイムアウト。  
しかしその後も流れは変わらず、残り28秒今度は山手中華がタイムアウト。  
開始エンドからのセットプレーで⑧が確実にシュート  
ここで、この試合初めて山手中華が逆転22 - 19で2Q終了する。

#### 3Q

山手中華④⑥⑧⑪⑮ 川上北④⑤⑦⑨⑩でスタート。  
開始早々川上北は④のジャンプシュートで逆転。  
その後も⑤⑦の見事なピック&ロープレーで  
得点を重ね徐々にその差を広げていく。山手中華も川上北の厳しいオールコートDFをパスで繋ぎシュートまで  
行くがなかなか得点にならず残り2分⑥の力強いセンタープレーでようやくゴール  
残り15秒川上北④の落ち着いたドリブルキープから⑩へのアシストパスでロングシュートが決まり  
26 - 37と川上北リードで3Q終了する。

#### 4Q

山手中華④⑥⑧⑪⑮ 川上北3Q同様でスタート。  
川上北は最終クォーターも足が止まらず④、⑤のパスカットからの速攻でさらに点差を広げていく。  
一方山手中華も厳しいDFでルーズボール、速攻と④⑥を中心に徐々に追いついていくが、川上北も厳しいDFで  
山手中華の追い上げを許さなかった。残り1分45秒山手中華タイムアウトで⑨を投入する。  
しかしその後も川上北は④を中心に落ち着いたパス回しで流れは変わらず川上北が見事勝利を収めた。





## 2015横浜市ミニバスケットボール連盟 春季大会 戦評

### 男子準決勝 菊名 52 vs 24 大正

#### 1 Q

トスアップ直後、菊名⑦のシュートを菊名⑥がリバウンドゴールを決める。対する大正も④のミドルシュートで直ぐに追いつく。菊名は⑦がインサイドを圧倒的に支配し得点を重ね、大量リードを築き始める。大正は⑦のミドル、④のドライブで応戦するが、菊名のディフェンスに思うように攻撃ができない。菊名15 - 6大正で1 P 終了。

#### 2 Q

大正のポゼッションで開始。開始1分間、双方ともターンオーバーやシュートミスが続く展開。大正⑤のドライブから⑧がリバウンドで得点が動きだす。菊名も直ぐに③のリバウンドで得点する。大正は⑤⑥⑧が果敢にゴールを試みるがなかなか得点を重ねられない。菊名は⑤のアシストからの⑩の得点など多彩な攻撃でリードを更に広げる。菊名26 - 12大正で前半終了。

#### 3 Q

菊名⑤⑥の攻撃から⑦⑩のインサイドへのアシスト、⑦⑩のハイロー等、インサイドを圧倒する展開でゲームが進み、更に得点差を広げていく。大正は④が果敢にアタックするが、菊名のインサイドを攻め込むことができず、苦しい攻撃を強いられ、その差を縮めることができず3Pを終える。菊名38 - 18大正

#### 4 Q

菊名⑤⑥が仕掛け菊名インサイド⑦へ、⑦のポストから⑤⑥へ展開と、インサイドを有利にしている菊名が更にリードを広げる展開が続く。大正は④⑤⑥がゴールへのアタックを試みるも、思うように菊名のインサイドを割ることができず、試合が終了する。菊名52 - 24大正と、大きく差をつけた菊名が決勝へ進む。





## 2015横浜市ミニバスケットボール連盟 春季大会 戦評

### 男子決勝 川上北 34 vs 56 菊名

#### 1Q

菊名ボールで試合はスタート。  
菊名は⑦のインサイドを中心に確立高くオフェンスを決めていく。  
対する川上北は④のジャンプシュートで対抗する。  
川上北④はブザービーターも決め点差を縮め、8-13菊名リードで1Q終了。

#### 2Q

川上北⑤がオフェンス、ディフェンスに活躍すると逆転に成功する。  
しかし、菊名もこのクォーター全員得点を上げるバランスのいい  
オフェンスで再逆転する。菊名は速攻も決まり、  
リードを保ち19-24で2Q終了。

#### 3Q

リードを縮めたい川上北は④のジャンプシュートで反撃する。  
しかし、菊名はインサイドを有効に使い、リバウンドから速攻、  
セカンドチャンスからのシュートとリードを広げる。  
24-43菊名がリードを広げ3Q終了。

#### 4Q

菊名はミドルレンジのシュートが決まりだし、リードを更に広げる。  
川上北も④、⑤がシュートを決め必死に追い上げるも及ばず。  
ゴール下を圧倒し、終始試合を優位に進めた菊名が34-56で優勝を果たした。





## 2015横浜市ミニバスケットボール連盟 春季大会 戦評

### 女子準決勝 戸塚 34 vs 20 矢部

#### 1 Q

矢部はインサイドの④番を中心としたオフェンスで得点を重ねていく。矢部のペースで試合が動き出す。対する戸塚は、序盤は矢部のハーフコートDFに苦しむがアウトサイドのシュートが決まりだし2点差で1 Q終了。戸塚6 - 8 矢部

#### 2 Q

戸塚はオールコートマンツーマンの厳しいD Fからペースを握りだし逆転に成功する。更に⑤番⑦番を中心とした、ドライブ、インサイドアウトからのシュートなどで戸塚ペースで2 Q終了。戸塚14 - 12 矢部

#### 3 Q

矢部の高さを生かすハーフコートD Fに対し戸塚はガードの④番を中心とした、早いパス回しやドライブによりD Fとのギャップを作り得点を重ねていく。対する矢部は戸塚のD Fに苦しみ得点が止まってしまう。戸塚20 - 14 矢部

#### 4 Q

戸塚の流れは変わらない。残り4分10点差に開いたところで矢部タイムアウト。矢部はD Fをオールコートマンツーマンに変えるが戸塚の持ち味であるアウトナンバーの速攻が決まりだす。矢部も④番⑤番を中心としたO Fで得点を重ねるが追いつくことが出来ず、試合終了。戸塚34 - 20 矢部

戸塚のバスケットの理解、試合運びが1枚上手だった。  
矢部は高さ、能力が高いので秋の大会が楽しみであり、期待したい。





## 2015横浜市ミニバスケットボール連盟 春季大会 戦評

### 女子準決勝 川上北 29 vs 33 六浦南

#### 1 Q

立ち上がりから川上北⑦と六浦南⑥のセンタープレーの攻防が続く。両者ともシュートを打つが得点につながらない。六浦南④がスティールからダブルシュートを決め試合が動き出す。その直後、川上北⑧がドライブシュートを連続して決める。六浦南は⑩のミドルシュート、④のシュートで応戦し流れを掴む。だが、残り3分に六浦南④のオフェンスチャージから得点が止まる。残り1分半で川上北⑦がゴール下シュートを2本、⑧がフリースロー1本決める。9対6と川上北リードで1 Q終了。

#### 2 Q

川上北は④を中心に攻める。高さに勝る六浦南は⑤、⑨と攻めるが堅い守りに阻まれる。六浦南⑦がチャンスを逃さずシュートを狙う。ジャンプシュート、ミドルシュートが決まる。川上北は④、⑩のミドルシュートに加え、④がバスカンとフリースローも決める。残り2分で六浦南タイムアウト。終了までお互い1ゴールずつ得点し18対12と川上北リードで2 Q終了。

#### 3 Q

六浦南はオールコートを仕掛け、6点差の追い上げにかかる。前半得点出来なかった六浦南⑥、⑤が連続してシュートを決め一気に同点にし、④のシュートも決まり逆転する。六浦南の勢いを止めたい川上北は、④、⑧外角シュートを狙うが得点につながらない。残り3分、川上北⑦がゴール下シュートでファウルを誘いフリースローを1本決める。3 Qの川上北の得点はこの1点のみ。カッティングで攻めのリズムを作り更に加点した六浦南と明暗を分けた。3 Qだけの得点は13対1で六浦南。ゲームは、19対25と六浦南リードで3 Q終了。

#### 4 Q

6点差をつけられた川上北は積極的に攻め続ける。守りも更にプレッシャーをかけるが六浦南④は外角シュートを連続して決める。川上北は1対1を狙い④、⑧、⑩と得点し粘りを見せる。六浦南⑥はゴール下シュートをきっちり決める。残り1分半、川上北⑩が得点し4点差。続き、⑦もシュートを決め2点差とする。残り20秒で川上北がタイムアウト。あと1本のところで六浦南にボールを奪われ⑥がシュートを決め終了。29対33で六浦南の勝利。





## 2015横浜市ミニバスケットボール連盟 春季大会 戦評

### 女子決勝 戸塚 44 vs 25 六浦南

西部1位戸塚と南部1位六浦南の決勝戦。

#### 1 Q

先制したのは戸塚。④のドリブルドライブから⑥が続けて合わせて4 - 0。主導権をにぎる。対する六浦南は、センター⑥に合わせ攻撃を試みるが、うまくパスが繋がらない。戸塚は④⑥がドライブを決め、8 - 0となったところで六浦南がタイムアウト。タイムアウト後、落ち着きを取りもどした六浦南は④がミドルシュートを連続して決め、10 - 4戸塚リードで1 Qを終了。

#### 2 Q

戸塚は⑤がミドル、ドライブ、アシストと攻撃の起点となり8連続得点。六浦南は戸塚の厳しいマンツーマンディフェンスを攻めあぐみ、このクォーターワンゴールのみ。26 - 6と戸塚が20点差をつけて後半へ。

#### 3 Q

六浦南は後半開始早々、ポストを中心に攻め差を詰める。戸塚も速攻やリバウンドシュートなどで点を重ねるが、六浦南のディフェンスが機能しはじめ、なかなか思うようなシュートが打てなくなる。六浦南はインサイドアウトのプレーから④がミドルを決め、32 - 17と5点詰め15点差で最終クォーターへ。

#### 4 Q

六浦南はディフェンスのプレッシャーを強め戸塚を追いかける。どの選手も積極的にリバウンドに飛びこみ、シュートの回数を増やしていく。六浦南⑤や⑥がゴール下で頑張り点差を詰めていく。対する戸塚は⑤のドライブが止まらない。ミートからドライブでジャンプシュートを決めたかと思えば、今度はシュートではなく合わせのパスを配球しディフェンスを翻弄する。前半の得点差を守りきった戸塚が44 - 25で優勝を飾った。

